

様式 6

令和 3 年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市ふれあいデイサービスセンター
施設の設置目的・役割	家に閉じこもりがちな高齢者の自立生活の助長と介護予防を図る
施設の所在地	岡崎市榎山町字仲村 10 番地 1
施設規模	敷地面積：835.25 m ² 建物面積：90.77 m ² （管理床面積）
指定管理者	名 称：社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会 所在地：岡崎市美合町字五本松 68 番地 12 代表者：太田 俊昭
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（5 年間）

1 事業の実施状況並びに施設の利用状況

(1)実施状況

岡崎市ふれあいデイサービスセンター：定員 10 名

	年間実績	月平均	利用率
開所日数	242 日	20.1 日	
登録者数	701 人	58.4 人	
利用者数	1,660 人	138.3 人	68.5 %

利用率は定員に対する率、小数点第 2 位以下切り捨て

(2)事業実施に対する自己評価

1 日当たりの利用率は約 69 %（平均 6.9 人／日）となり、前期と比較して、1 日あたり受入人数が減少（－0.4 人／日）した。この原因としては、登録抹消者数に対して新規登録者数が少なかったことがある。また送迎に関して、送迎時間を可能な限り短くするよう利用者の居住地域を考慮した班編成を行い、送迎距離が短くなるよう調整を行っているため受け入れ人数が定員を下回る班もある。

このほか、気候によっても利用人数が左右され、夏季の暑さや冬季の寒さが増す時期には欠席者が増える傾向にある。

今後も、巡回相談での周知活動及び利用希望者の情報収集、額田地域包括支援センターとの情報共有など、利用者の掘り起こしを継続しつつ、プログラムを充実させるなど、より魅力を高めていく必要があると思われる。

2 収支状況

(1)収支状況

	項 目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料		9,455,680
	利用料金収入		498,000
	前期末繰越金		4,290,186
収 入 計			14,243,866

	項 目	内 訳	決算額(円)
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費 修繕費、清掃等委託料、保険料等	9,994,235
	(うち修繕費)	※精算項目	9,680
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	4,249,631
支 出 計			14,243,866
差 引			0

(2)収入状況に対する自己評価

新型コロナウイルス感染症の対策に努め、休館することなく開所することができたため、利用料収入は前期よりも増加した。

3 利用者アンケート結果

(1)実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
令和3年12月6日(月) ↓ 令和4年1月17日(月)	55名/59名	利用者全員に対し、無記名方式によるアンケート

(2)アンケート結果概要

ふれあいデイを利用する理由 (複数回答)

友人・知人に会える(51名)、レクリエーションが楽しい(46名)、元気になれる(50名)、食事がとれる(41名)、皆との会話が楽しい(51名)、家族や福祉の人が行くことをすすめる(14名)、外出先が他にない(22名)

その他：体や頭を使うことが良い。1日がとても楽しいから。職員の対応がとても親切で楽しい、など(5名)

ふれあいデイを利用して良かったこと・悪かったこと (複数回答)

良かったこと：元気になった(41名)、友人が増えた(41名)、楽しみが増えた(39名)

悪かったこと：レクリエーションがつまらない(3名)、疲れてしまう(1名)

特になし：特になし(5名)

その他：長命の一助となっている、出席できる日が楽しみ(2名)

ふれあいデイの職員のあいさつ・接し方

とても良い(48名)、良い(名)、ふつう(2名)、あまり良くない(0名)、良くない(0名)

ふれあいデイについて改善してほしい点

利用回数：増やしてほしい(14名)

レクリエーション：楽しい (6名)

食 事：美味しい (3名)

職 員：気さく・優しい(4名)

送迎バス：良い時間 (3名)

室内の環境：快適 (2名)

その他意見

・カラオケができると良い。

ふれあいデイの利用で困っていることや、その他の意見など

・午後4時頃まで時間を長くして欲しい。

ふれあいデイに興味を持っていそうな方を知っているか

・知っている(9名)、知らない(23名)

(3) アンケート結果に対する自己評価

ふれあいデイを利用する理由として、元気になった、レクが楽しい、食事がとれるという多数の回答をいただいております。ふれあいデイサービスセンターの設置目的である利用者の介護予防推進としての目的を果たせていると思われる。また、友人に会える・楽しいとの回答も多くみられ、高齢者の社会参加の機会の確保や、高齢者の生活における生きがいづくりに貢献していると考えます。職員の対応についても、適切であるとの多くの回答をいただいております。今後もこの結果を継続していけるよう、さらなる当職員の接遇技術の向上に努めたい。

4 その他の自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

アンケートの結果から、デイサービスの運営全体に関し、利用者には満足いただけていると考えられる。その一方で、レクリエーションを負担に感じているという意見や、デイサービス内での友人知人との会話そのものを楽しみに利用されている方もみられることから、デイサービスの時間を利用者が負担に感じることなく過ごせるよう、個々の状態に応じたサービスや環境を提供できるよう努めたい。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

平成30年度より開始した珈琲の提供も多くの方から好意的な意見をいただいている。引き続き、コロナ感染予防対策を始めとした衛生管理のもと提供を続けていきたい。また、利用回数を増やして欲しいとの要望は例年あげられているが、利用者の班分けや送迎コース設定の都合上、現在の利用回数が限度であると思われる。また、額田福祉総合相談窓口と連携し、買い物支援に関するアンケートを実施した。利用者からは、日常的に買い物等の外出機会が少なく自分で商品を選びたいというニーズが多くあがった。そのため、次年度の自主事業として買い物支援サービスを検討していくこととした。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決規程に基づき、苦情解決責任者並びに苦情受付担当者を配置している。また苦情解決の社会性や客観性を確保するため第三者委員を配置し、苦情があった場合には適切に対応できる体制をとっている。